

VMware Data Recovery

仮想マシンデータの完全な保護を実現

概要

VMware® Data Recovery は、ディスクベースのバックアップおよびリカバリソリューションです。仮想マシンの完全なデータ保護を迅速かつ容易に実現します。バックアップ製品の多くは、物理的なワークロードを中心にバックアップを行うか、または仮想環境向けの構成が複雑になっています。VMware Data Recovery は、仮想環境内のデータ損失やダウンタイムを最前線で防止します。このソリューションは、VMware vCenter™ と完全に統合され、バックアップジョブを効率的に統合管理できます。また、データのデデューブ（重複排除）により、バックアップで使用するディスクストレージの容量を削減できます。

メリット

- ・パワーオフ状態または物理ホスト間で移行中であっても、すべての仮想マシンで迅速かつ効率的なデータ保護が可能
- ・仮想マシンのバックアップコストを削減し、エージェントが不要なスナップショットベースのアプローチによりバックアップ時間を短縮
- ・VMware vCenter Server 内の統合インターフェイスにより、シンプルなバックアップジョブの構成および管理を実現
- ・組み込み型のデータデデューブテクノロジーにより、バックアップデータによるディスク占有量を削減

VMware Data Recovery の企業での活用

VMware Data Recovery は、企業がインフラストラクチャの仮想化を行う際に、仮想環境のデータ保護対策として使用します。

VMware Data Recovery では、次のことが可能になります。

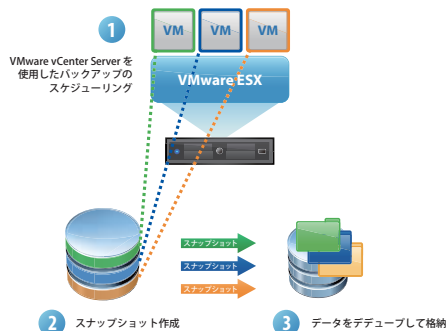
- ・仮想マシンのフルイメージバックアップ
- ・仮想マシンのフルリカバリおよび増分リカバリと、ファイルやディレクトリの個別リカバリ

VMware Data Recovery の仕組み

VMware Data Recovery は、3つの主要コンポーネントで構成されています。1) VMware vCenter Server のユーザーインターフェイスプラグイン、2) バックアップおよびリカバリプロセスを管理する VMware Data Recovery 仮想アプライアンス、3) デデューブ（重複排除）されたバックアップ先ストレージ。

バックアッププロセス

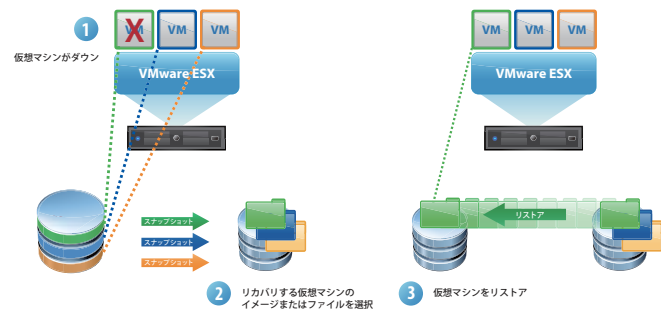
直感的に使用できる VMware vCenter Server のインターフェイスを使用すると、保護する仮想マシンの選択、バックアップジョブのスケジューリング、データの保存ポリシーの適用、およびバックアップ先ディスクの選択を迅速に実行できます。ジョブが VMware Data Recovery 仮想アプライアンスに送信されると、保護対象の仮想マシンのスナップショットを作成し、バックアッププロセスが開始されます。VMware Data Recovery は、スナップショットが作成された時点の全体の状態を確実にキャプチャできるようにします。VMware Data Recovery では、VMware Data Recovery 仮想アプライアンスに直接スナップショットをマウントすることで、バックアップトラフィックから LAN を解放できます。スナップショットがマウントされると、VMware Data Recovery は、バックアップ先ストレージへのデータブロックのストリーミングを開始します。このプロセスの中で、VMware Data Recovery は、データブロックのストリーミングをデデューブして確実に冗長データを取り除き、そのあとバックアップ先のディスクにバックアップデータを書き込みます。すべてのデータが書き込まれると、VMware Data Recovery はスナップショットをアンマウントし、仮想ディスクのスナップショットモードを解除します。



主な機能

リカバリ プロセス

仮想マシン全体のリカバリ プロセスでは、VMware Data Recovery は、各仮想マシンの特定の時点のリストア ポイントを提示します。適切なリストア ポイントを選択すると、VMware Data Recovery は、この時点のデータ ブロックを取得して、リストア先のホストまたはリソース プールに仮想マシンをリストアするプロセスを開始します。既存の仮想マシンまたは仮想ディスクを上書きするときは、VMware Data Recovery は変更の加えられたデータ ブロックのみを効率的に転送します。VMware Data Recovery はファイル レベルのリストアもサポートしています。この方法は、リカバリ プロセス自体はほかと同じですが、仮想マシン コンソール内から起動する点が異なります。



VMware Data Recovery により、完全な仮想マシンイメージや個別のファイル¹を迅速にリカバリすることが可能です¹。

VMware Data Recovery の主な機能

迅速なバックアップとリストア

- ディスク ベースのバックアップとリカバリ。
ディスク ベースのストレージを使用することで、仮想マシンの迅速なリカバリを実現します。
- ファイル レベルのフルバックアップと増分バックアップ。
変更された内容の差分のみを保存することで、バックアップ時間を短縮します。
- イメージ レベルとファイル単位のリストア¹。
災害時に仮想マシン イメージ全体を回復します (任意のオペレーティング システムを実行している仮想マシンに対応)。また、個々のファイルおよびディレクトリのリカバリを実現します (Microsoft® Windows オペレーティング システムを実行する仮想マシンに対応)。
- VSS のサポート。VSS (Volume Shadow Copy Service) のサポートにより、Microsoft アプリケーションのバックアップが可能です。

統合管理インターフェイス

- 統合管理コンソール。VMware vCenter Server 内のプラグインとしてインストールされるため、バックアップと仮想マシンの管理を単一のコンソールで実行できます。
- 仮想マシンのインベントリ。VMware vCenter Server の管理対象となるすべての仮想マシンを自動的に特定します。
- ウィザード形式のワークフロー。直感的なウィザードを使用して、バックアップジョブを作成、構成、およびスケジューリングできます。これは、次の 4 つの簡単な手順で行います。
 - 1) 保護対象の仮想マシンを選択、
 - 2) バックアップ先のストレージ ディスクを選択、
 - 3) スケジュールを選択、
 - 4) 保存ポリシーを選択。
- VMware vSphere™ に完全に対応しており、パワーオン状態または移行ステータスに左右されない仮想マシンのバックアップを実現。VMware VMotion™ が移行する仮想マシンの監視を行い、スケジューリングされたバックアップが中断されないようにします。

費用対効果に優れたストレージ管理

- データのデデュープ (重複排除)。ディスクへのデータのストリーミング時にデデュープを行うことで、使用するストレージ容量を削減します。
- ローカル ストレージ、NAS、ファイバ チャネル SAN、または iSCSI SAN のサポート。使用しているストレージの種類にかかわらず、すべての仮想環境を保護します。

¹ ファイル レベルのリストアは、VMware Data Recovery バージョン 1.0 で試験的にサポートされる機能です。試験的にサポートされる機能の詳細については、次の Web サイトを参照してください。
<http://www.vmware.com/jp/support/policies/experimental.html>

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、弊社営業部門に電話 (03-4334-5600) またはメールでお問い合わせいただくか、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products

製品仕様およびシステム要件の詳細については、

VMware Data Recovery のインストールおよび構成ガイドをご覧ください。